

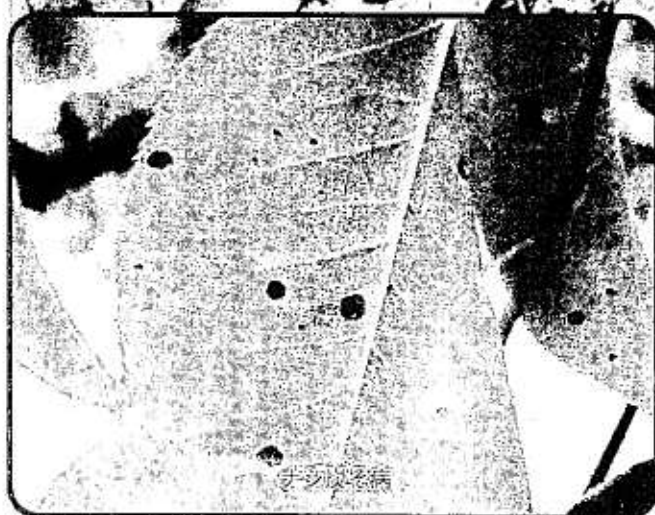
～来年も美味しい高品質なナシを作るために～  
**ナシの収穫後の病害虫防除のポイント**

佐賀県果樹試験場 病害虫研究担当

井手 洋 一



ナシ炭そ病による落葉



ナシ炭そ病

八月上旬は、本県の主力品種である「幸水」の収穫でお忙しいことかと思えます。

お盆が過ぎると、幸水の収穫がほぼ終了しホッと一息ついたところでしょうが、そうもいきません。

来年のための準備が必要です。

今回は、ナシの収穫後の病害虫防除のポイントについて述べてみたいと思います。

**病 害 対 策**

八月上旬収穫の幸水の収穫後の対応は、園内に中晩生品種が植栽されているかどうかで異なります。

豊水、新高等の中晩生品種が植栽されている園では、炭そ病(旧称「葉炭そ病」)が問題となります。

収穫前日まで使用でき、炭そ病にも高い効果を示すストロピルリン系の薬剤(アミスター10フロアブル一、〇〇〇倍、ストロピドライフロアブル二、〇〇〇倍等)を散布します。

幸水の収穫終了後、すぐに

散布してください。

また、九月上旬で収穫が終了する豊水の収穫後にもストロピルリン系の薬剤を散布したいところですが、ストロピルリン系の薬剤は耐性菌の出現が心配される剤ですので、できるだけ年間の使用回数を最小限にとどめることが重要です。

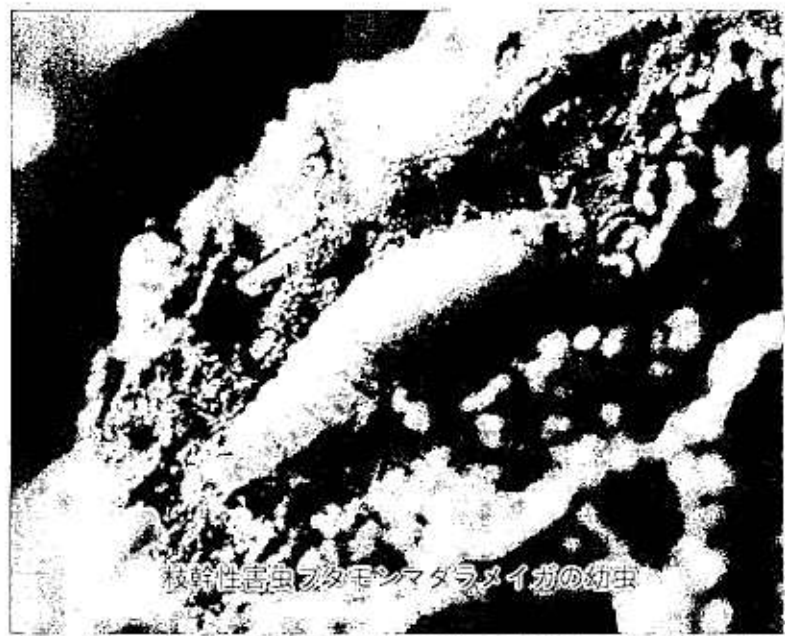
実際にイチゴ炭そ病では、ストロピルリン系の薬剤に対する耐性菌が出現し問題になっています。

このような理由から、豊水の収穫が終わってから、新高等の晩生種の収穫まで七日以上空いているようであれば、オースサイド水和剤10(収穫七日前まで可)で対応した方が得策です。

適用は黒星病にしかありませんが、ちょうど黒星病の防除適期でもありますので、黒星病防除のために散布しておけば炭そ病の発生も少なくなります。

汚れが残りやすい薬剤ですが、袋かけがしてあれば薬剤による汚れの心配はまったくありません。

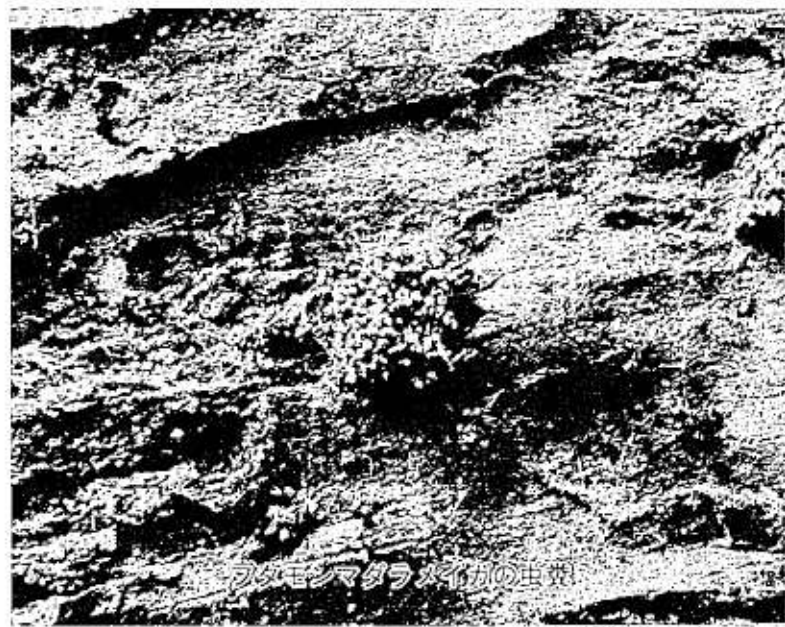
なお、幸水で炭そ病が問題になることはありませんので、幸水で収穫がすべて終了する園では、黒星病のみを対象にします。



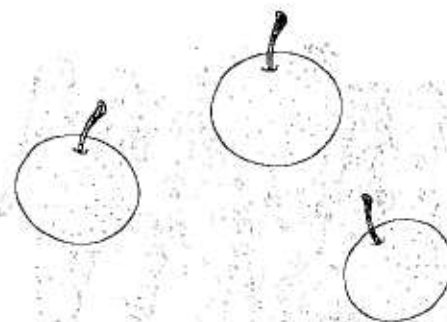
枝幹性害虫フタモンマタラメイガの幼虫



フタモンマタラメイガの被害痕



フタモンマタラメイガの虫道



黒星病菌が芽基部に感染するのを防ぐために、アランフロアブルー、〇〇〇倍（収穫四日前まで可）か、キノンドーフロアブルー、〇〇〇倍（収穫三日前まで可）を散布します。このような保護殺菌剤を散布しておくことで、瓶枯病菌や枝枯病菌による芽枯れや枝枯れも少なくなりま

す。ただ、ポジティブリスト制の問題もありますので、周囲に収穫が終了していない園があるようであれば、**害虫対策** 最近、枝幹を加害する害虫の場合、枝や幹の中に幼虫が潜ってしまった後は、殺虫剤の効果はまったくありません。

これまでハウス栽培やトンネル栽培の収穫後は殺ダニ剤以外は散布しないという場合が多かったのですが、このような害虫に悩まされている園では殺虫剤の散布が必要です。収穫以降一〇月までは、有機リン剤または合成ピレスロイド剤を一ヵ月ごとに散布してください。薬剤については、周囲の園の収穫状況をみて判断してください。カイガラムシが発生している園では（特にナシマルカイガラ）、スプ

ラサイド水和剤一、五〇〇倍（収穫四五日前まで可）、ダイアジノン水和剤一、〇〇〇倍（収穫一四日前まで可）等の有機リン剤やアプロード水和剤一、〇〇〇倍（収穫三〇日前まで可）等のIGR剤で対応します。

八月中！下旬頃が第二世代幼虫期にあたり防除適期となりますが、一月中旬まで発生がだらだらと続きますので、一ヶ月毎程度に薬剤散布が必要になる場合もあります。

また、散布後二〇日頃に介殻をはがして虫体が乾燥して固まっていれば薬剤の効果があつたと判定できます。

黄橙／黄色で針で刺して体液が出るようだと効果がなかつたとみてください。

なお、カイガラムシ類はスピードスプレーの薬液が十分に到達していない個所に、集中発生しているケースが多いようです。そのような場合は、面倒でしょうがスピードスプレーから降りて手散布で対応してください。

また、可能であれば薬液が虫体にかかりやすいように、ワイヤーブラシ等で介殻をこすり虫体を剥き出しにした方が効果が高くなります。

## 白紋羽病対策

収穫後には、樹勢回復のための措置が必要です。まずは、乾燥した根域にかん水を施し、発根を促進させることが重要です。

特に、七月中に収穫が終了するハウスナシには樹にかなりの負担がかかっていますので、必ず実施してください。

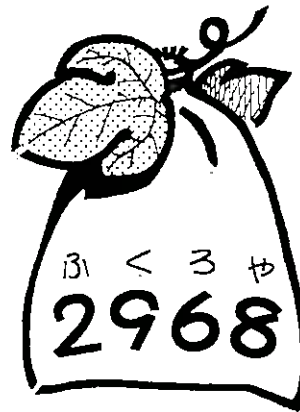
白紋羽病の防止対策としても、重要な措置です。また、白紋羽病対策としてフロンサイドSC五〇〇一、〇〇〇倍が有効ですが、何も休眠期まで待つ必要はありません。

白紋羽病の被害が出ているようであれば、収穫後すぐにでもかん注処理を行ってください。

なお、白紋羽病にかかった樹があれば、必ずといっていいほど隣接した樹にも発病がみられます。発病した樹があれば、隣接した樹にも必ず処理してください。

◇ ◇ ◇  
以上のように、ナシの収穫後の病害虫防除のポイントを述べてみました。永年作物である以上、来年を見据えた取り組みが重要です。実践をお願いします。

安心なおいしさ...



果実袋の専門メーカー  
**江見製袋株式会社**

〒841-0017佐賀県鳥栖市田代大官町856 Tel.0942-82-2968